



□ 川越橋

入間川にかかる唯一の冠水橋だった川越橋は、また市街地と霞ヶ関、名越方面を連絡する抜け道として、かなり混雑するルートとなっていた。そのため市道のルート変更に伴う橋の架け替えが平成2年に完成した。橋桁の色彩を川越らしい紺紫色にし、親柱には時の鐘をあしらひ、橋誌と歩道部を所々ふくらませて、東京宮所蔵の36歌仙の陶版を埋め込むなど川越イメージを盛り込んでいる。